

従来の運搬における人間の負担を補う為の運搬型MIRS

M
I
R
S
1
7
0
4

Smart Phone

- ◆MIRSとの連動
- ◆行先の指定
- ◆MIRSを呼び出せる。



Mechanism

- ◆木材を利用
- ◆耐荷重 ノート40冊を基準 (約4kg)
- ◆高さは約700mm

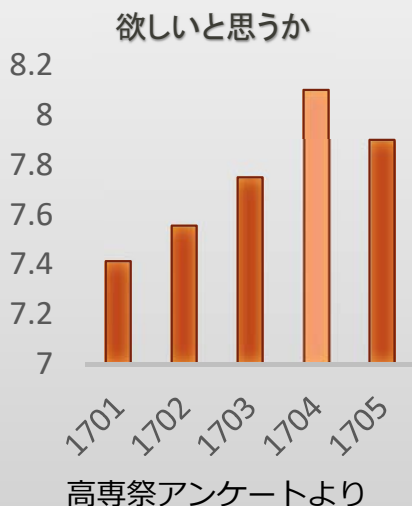


Elevator

- ◆エレベータ利用可能
- ◆赤外線センサを搭載
- ◆ボタンを押す子機を作成

Running

- ◆完全自律走行
- ◆運搬ルートの情報を与えることで自律走行を行う。
- ◆方位センサ1つ、タッチセンサを8方に1つずつ、超音波センサを4方に1つずつ取り付け走行安定を目指す。



高専祭では投票で1位を獲得!!

要因として、全5班で唯一の購買意欲トップとなり、8点台を獲得した。

投票ありがとうございました!!

学校生活における
荷物を運搬する手間を
運ぱんマン が解決します。

コンセプト

学内にて
「POINT TO POINT」の走行
を行い目的地まで荷物の運搬
を行うことで人の役に立つ



GOAL

E.V.で行動範囲拡大



C

A

道の分岐も検地
・方位センサ
・超音波センサ

START

STARTからGOALまで
荷物を運搬します。

D

直進走行が可能
・タッチセンサ
・超音波センサ

小川 宗徳
PM

大勝 友晶

竹内 睦人

石川 仁

鈴木 皓仁

三浦 凜太郎
PL

村田 航

加藤 智己

松藤 由郁

Future ~近い未来~

- ◆配送・配達はロボットが行う
- ◆家事の負担も軽減
- ◆AEDの運搬など医療現場でも活躍

運ぱんマンはその第一歩

運ぱんマンとは？

従来の運搬における人間の負担を
補う為の運搬型MIRS

ターゲット

学生
教員
学内にいるすべての人

